

現代の眼 635

東京国立近代美術館ニュース 2020年

特集 工芸館石川移転開館記念特集

ピーター・ドイグ展特集

[MOMATコレクション 特集展示] 岡崎乾二郎 | TOPICA PICTUS たけぼし

展覧会レビュー

美術館 [コレクションによる小企画] 北脇昇 一粒の種に宇宙を視る

[コレクションによる小企画] 男性彫刻

眠り展：アートと生きること ゴヤ、ルーベンスから塩田千春まで

新しいコレクション

浅見貴子《梅に楓図》

杉戸洋《the secret tower》

吉田克朗《触“体—47”》

速水御舟《寒牡丹写生図巻》

教育普及

コロナ禍の教育普及活動(1) — 代替プログラムでの新たな試み

コロナ禍の教育普及活動(2) — ICTを活用したスクールプログラムの新展開

展覧会レビュー

工芸館 [国立工芸館石川移転開館記念展Ⅰ]

工の芸術 — 素材・わざ・風土

[国立工芸館石川移転開館記念展Ⅱ]

うちにこんなのがあったら展 気になるデザイン×工芸コレクション

新しいコレクション

金子潤《Untitled (13-09-04)》

教育普及

「工芸とであう」鑑賞システムの試み

[ファンドレイジング]

[国立工芸館石川移転開館記念事業] 12人の工芸・美術作家による新作制作プロジェクトについて





美術館

展覧会レビュー(美術館 ギャラリー4)

- 06 宇宙を視るためのレンズ——北脇昇のオブジェに寄せて
副田一穂[愛知県美術館学芸員]
- 08 男性彫刻、それともオス彫刻？
木下直之[静岡県立美術館館長/神奈川大学特任教授]

新しいコレクション

- 10 浅見貴子《梅に楓図》
都築千重子[美術課主任研究員]
- 11 杉戸洋《the secret tower》
保坂健二郎[美術課主任研究員]
- 12 吉田克朗《触“体—47”》
古館遼[美術課研究員]
- 13 速水御舟《寒牡丹写生図巻》
鶴見香織[美術課主任研究員]

岡崎乾二郎 | TOPICA PICTUS たけばし 特集

- 15 TOPICA PICTUS: 私的断章
永田晶子[美術ジャーナリスト]
- 17 作品はどこにあるのか。どこからどこまでが作品なのか。そもそも作品とは何なのか。
小野正嗣[作家]
- 20 岡崎乾二郎と「具象」
上崎千[芸術学]

ピーター・ドイグ展特集

- 23 没入する眼差し、再訪する絵画——「ピーター・ドイグ」展を見て
吉村真[美術史研究者]
- 24 開かれた絵画空間
横山由季子[金沢21世紀美術館学芸員]
- 27 絵画の理由——ピーター・ドイグ展に寄せて
天野知香[お茶の水女子大学教授]
- 28 画面の手前で
松浦寿夫[画家/批評家]
- 30 錯綜と連想——ピクチャレスクから見たドイグ
近藤亮介[美術批評家/東京大学助教]
- 31 レンズの秩序と絵具の論理のはざままで
松下哲也[近現代美術史家]
- 32 東独具象絵画とドイグ
大浦周[埼玉県立近代美術館学芸員]
- 34 内なるスタジオ
梅津庸一[美術家]
- 36 「裏」からピーター・ドイグの絵画を見ること
田口かおり[修復士/東海大学情報技術センター特任講師]
- 39 画家ピーター・ドイグをめぐるエッセー(企て)
榎木野衣[美術批評]

展覧会レビュー(美術館 企画展ギャラリー)

- 40 絵画のまどろみ、あるいは理性への抵抗
東海林洋 [ポーラ美術館学芸員]
- 42 「眠り展」から捉える睡眠文化
鍛治恵 [NPO 法人睡眠文化研究会事務局長]

教育普及

- 44 コロナ禍の教育普及活動(1)——代替プログラムでの新たな試み
細谷美宇 [企画課特定研究員]
- 46 コロナ禍の教育普及活動(2)——ICTを活用したスクールプログラムの新展開
一條彰子 [企画課主任研究員]

工芸館

工芸館石川移転開館記念特集

- 51 新しい国立工芸館
唐澤昌宏 [工芸館長]
- 52 国立工芸館と私
島敦彦 [金沢21世紀美術館館長]
- 53 「これからの工芸館」をイメージできる顔
原田祐馬 [UMA / design farm 代表]
- 54 国立工芸館の建築と松田権六の仕事場の移築・再生
森田守 [株式会社金沢伝統建築設計 代表取締役]
- 56 国立工芸館における作家アトリエの再現展示「松田権六の仕事場」
北村仁美 [工芸課主任研究員]

新しいコレクション

- 58 金子潤《Untitled (13-09-04)》
唐澤昌宏 [工芸館長]

教育普及

- 59 「工芸とであう」鑑賞システムの試み
今井陽子 [工芸課主任研究員]

展覧会レビュー

- 60 「移動」のプロジェクトのはじまり——国立工芸館石川移転開館記念展 I「工の芸術——素材・わざ・風土」
山崎剛 [金沢美術工芸大学 学長]
- 62 工と芸との間に——国立工芸館の立つ丘で
森仁史 [山鬼文庫代表]
- 64 デザインと工芸と快適な暮らし
岩井美恵子 [パナソニック汐留美術館学芸員]
- 66 「うちにこんなあったら展」を観たら。
須藤玲子 [テキスタイルデザイナー]

ファンドレイジング

- 68 国立美術館のクラウドファンディング第2弾プロジェクト
国立工芸館 石川移転開館記念事業 12人の工芸・美術作家による新作制作プロジェクトについて
境雅実 [独立行政法人国立美術館ファンドレイジング担当]